

## 仙台市安全安心街づくり基本計画（平成 23 年度から平成 27 年度） の取り組み総括と課題等

### 基本目標 1 市民一人ひとりの防犯力の向上

#### ●平成 23 年度から平成 27 年度までの取り組み総括●

平成 23 年度には東日本大震災後の仮設住宅における防犯講座を実施し、平成 25 年度には地域における青少年のインターネット環境整備に係る各種取り組みを支援するために「青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム」を開催したほか、引き続き、児童生徒や障害者団体、高齢者や高齢者に接する機会が多い民生委員・介護支援専門員など対象者に応じた防犯講座の実施のほか、女性を対象とした相談受付や関係機関と連携した支援等の実施、市政だよりや市ホームページ、機関誌、各種情報誌など様々な媒体を活用した犯罪情報の提供、街頭キャンペーンや各種イベントなどにおいて、増加傾向にある特殊詐欺の注意喚起や防犯対策等に関する啓発活動を実施するなど、様々な機会を捉えた効果的な広報や防犯思想の普及啓発を行い、防犯対策の周知や防犯意識の高揚を図った。

#### ●課題等●

対象者に応じた防犯講座や各種媒体・機会を活用した啓発活動を実施することで、市民一人ひとりの防犯力の向上に資することができたものの、多様化・巧妙化する振り込め詐欺等の特殊詐欺や、インターネットに起因する新たな犯罪等について、被害を未然に防ぐために、関係機関と連携し、犯罪情勢に応じた効果的な広報啓発活動を継続的に実施していく必要がある。

### 基本目標 2 互いに協力し支え合う地域力の高い防犯の街づくり

#### ●平成 23 年度から平成 27 年度までの取り組み総括●

平成 23 年度には被災地や仮設住宅等を中心とした青色回転灯装着車両による防犯パトロールを実施し、平成 26 年度には市政だよりにより防犯協会による防犯パトロールの特集記事を掲載したほか、引き続き、学校防犯巡視員や地域ボランティア団体等による登下校児童生徒の見守り活動や青色回転灯装着車両による防犯パトロール・広報活動を実施するとともに、自主防犯活動団体への助成や防犯指導隊・防犯女性部研修会の実施、関係機関間における不審者情報の共有など、地域コミュニティや自主防犯団体など地域が一体となった子どもの見守り活動や安全確保、地域における防犯活動の推進を図るとともに、関係課機関と連携した被害者等の支援を実施した。

## ●課題等●

地域の防犯協会や自主防犯団体の参加者の確保が課題となっており、防犯活動を継続し発展させていくため、新たな人材を増やし育成するための取り組みや、地域において防犯活動に従事する団体間の交流・連携を図り、地域の防犯活動の質をより向上させるための取り組みが必要である。

また、増加傾向にある子どもに対する声かけ事案等について、被害を未然に防止し、地域力の高いまちづくりを推進するため、地域が一体となった見守り活動やあいさつ運動を継続的に実施していく必要がある。

## 基本目標3 犯罪をつくりださない環境づくり

### ●平成23年度から平成27年度までの取り組み総括●

平成24年度にはスケアード・ストレイト方式による交通安全教室を新たに開始し、平成25年度には安全安心な自転車利用環境の実現を図るため、「杜の都の自転車プラン」を策定し、平成26・27年度には法や条例に基づく管理不全な状態にある空き家の助言・指導を実施し、平成27年度には「仙台市歩行喫煙等の防止に関する条例」の制定を受け、歩きたばこ防止に向けた更なる啓発活動を実施したほか、引き続き、安全性向上のための歩行・自転車走行空間の整備、ごみのポイ捨て防止の啓発活動、放置自転車や違法駐輪対策など危険迷惑行為等撲滅に向けた取り組みを行った。また、街路灯の照度アップや私道街路灯新設補助、公園の死角を減らすための樹木の剪定や公園等の新設・修繕等を行い、防犯性の高い道路・公園の整備促進を図るとともに、小学校の実情に応じた通学路の安全点検などによる子どもの安全環境整備、国分町地区における夜間パトロールや環境浄化活動を地元町内会や警察等との協力により実施し、繁華街・歓楽街の環境整備を行った。

## ●課題等●

施設・環境整備や環境浄化活動等により犯罪を起こしにくい環境をつくり出すことで、防犯効果を高めることに一定の効果があったものと考えているが、より安全な環境づくりのため、空き家の適正な管理の呼びかけや歩きたばこの防止、放置自転車対策など迷惑行為等を撲滅するための取り組みが求められている。

また、学校やPTAなどと連携した子どもの安全環境整備や地元町内会等と連携した客引き対策などの繁華街・歓楽街対策も継続して推進する必要がある。